

健康にアイデアを

meiji

Meiji Seika ファルマ株式会社

健康にアイデアを

kmb

KMバイオロジクス株式会社

NEWS RELEASE

2024年10月16日

報道関係各位

百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ・Hib 混合ワクチン 『クイントバック®水性懸濁注射用』が「2024年度グッドデザイン賞」を受賞

KMバイオロジクス株式会社（本社：熊本市北区、代表取締役社長：永里 敏秋、以下「KMバイオロジクス」）と Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林大吉郎、以下「Meiji Seika ファルマ」）は、5種混合ワクチン『クイントバック®水性懸濁注射用』が2024年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しましたことお知らせいたします。

『クイントバック®水性懸濁注射用』は、既存の4種混合ワクチン（百日せき、ジフテリア、破傷風、不活化ポリオ混合ワクチン）である『クアトロバック®皮下注シリンジ』に、ヘモフィルスインフルエンザ菌 b 型（Hib）の抗原成分を加えた5種混合ワクチンで、2024年4月から定期接種に導入されています。

本ワクチンの実用化により、小児期における同種のワクチン接種回数がこれまでの8回から4回に削減され、お子様及びご家族の皆様の負担軽減に繋がっていることや医療従事者にとって安心・安全・手軽に使用できるようなデザインとなっていることが高く評価されました。

明治ホールディングスの医薬品事業会社であるKMバイオロジクスと Meiji Seika ファルマは、今後もより良い製品づくりに尽力してまいります。

デザインのポイント

1. 国内初の国産ヒブワクチンを実用化
2. 接種回数が従来の8回から4回に減少。接種による被接種者や保護者、医療従事者の負担軽減と5つの感染症に対する免疫付与を同時に実現
3. 小瓶の取り出し忘れを防止する個装箱の構造と、溶解忘れ防止のためのクリアラベルや副片ラベルを採用



GOOD DESIGN AWARD
2024年度受賞



グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

本製品は予防接種法に基づき定期接種すべき小児用5種混合ワクチンで、従来は8回行わなければならなかった注射が、半分のわずか4回ですむようデザインされたものである。赤ちゃんや保護者にとっての利便性は言うまでもない。一方で医療従事者にとってはこれまでとは手順が異なるので、安心・安全・手軽に使用できるよう、丁寧なデザインがされている点が高く評価された。関係者の長年にわたる工夫や努力に対し、深く敬意を表したい。

「グッドデザイン賞とは」

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

KMバイオロジクス株式会社

経営企画部 広報課 TEL：096-344-1385